

関西女子学生バスケットボール連盟 2022年度 第1回 理事会 議事録

日時 : 2022年4月2日 19:00~

場所 : ZOOMによる遠隔操作

出席者

[副会長] 野老稔

[理事] 丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、古本ルミ、石橋蔣広、柳生志乃、坂井和明、山中博史、永田康一、玉井里英、市谷浩一郎、岸本里紗、村田尚美、頼富未喜、村上なおみ、佐藤亜紀子、小林未季代、早川亮馬、白井徹、東亜弓、今西正泰、玉城耕二

[学生委員] 山下果歩、前川由衣、本庄由依、金崎睦、神田百代
多久島愛梨 奈良井愛水、門脇早希、船田理紗子
永吉芽衣、高田奈々、足立奈月、島美悠、鶴田彩海

書記 : 島美悠

古本総務部長から、出席状況の確認を行い、連盟規約の要件を満たしており、本日の会議は成立することの報告があった。丸岡理事長を議長として議事遂行することとした。

〈審議事項〉

1. 2022年度全関西女子学生バスケットボール選手権大会の開催について

(1) エントリー校数、組み合わせ、体育館確保の状況

前川副委員長より、資料1に基づき説明があった。参加校数は、46校、組み合わせや体育館の確保状況は資料通りと報告された。

(2) 表彰規定について

畠岸広報渉外部長より、資料2に基づき、表彰規定に理事長賞を5位~8から各1名、計4名を追加していれると説明された。また、得点王・リバウンド

王・アシスト王・3 ポイント王は決勝リーグの試合記録によって選考するとされ、例年、アシスト王が出ていない状況から強化部長とも相談のうえ、総アシスト 12 本以上の規定を外したいと提案され、了承された。

(3) YouTube 配信の計画について

神田学生委員より、YouTube 配信が 4 月 30 日の天理大学の会場から全試合ライブ配信され、4 日間で計 16 試合行うと説明された。

また、配信する際のキャプチャーとケーブルが破損したため、機材を新規購入すると報告された。

(4) 来館者、観客の取り扱い等について

西川副理事長より、資料 3 に基づき説明があった。原則は無観客とし、パンフレットには会場を掲載しないと報告された。しかし、4 月 29 日以降のベイコム、ラクタブ、天理大学に関しては、「各チームから運営補助員を選出し管理してもらうこと」「健康チェックシートを提出すること」「前日までに名簿を提出すること」「自チームの試合が終わり次第すみやかに退館すること」を条件に父母に限定をして入館を認めると説明された。また、来場される父母に関して一人 500 円の対策協力費の徴収することを検討することが提案され、実施の可否は、その後の状況をふまえて提案者に委ねることとなった。

(5) 感染対策委員会の報告

荒木副理事長より、資料 4 に基づき説明があった。大会を運営する際の基本方針として原則無観客とし、会場によって感染防止対策を徹底したうえで、有観客にするとされ、各チーム等でコロナ感染者が出た場合の処置や活動に関しては、各大学の指示に従うと説明された。

また、特に更衣室がコロナの感染拡大に関して注意をしないといけないとされた。健康チェックシートに関して、2 週間以内に発熱していた場合でも、各大学の判断によっては試合に参加できる運用としている大学もあるため、各会場で集めた際にしっかりと確認することが大切と補足された。

西川副理事長より、マスクをしていても感染をしてしまうということから手指消毒を徹底することが重要と指摘された。

(6) 代表者会議議題について

山下委員長より、資料 5 に基づき説明があった。総会の日程を、5 月 4 日（水）から 5 月 3 日（火）に変更すると報告された。

(7) パンフレットの納品、配布、販売について

古本総務部長より、口頭で説明があった。パンフレットの納品は4月5日を完成予定とし、各チーム1冊600円で販売をし、10冊以上の購入してもらう（10名以下のチームにはエントリー選手の人数分の購入をしてもらう）こととする。また、パンフレットは各チームの大会の初日にチームに配布できるよう準備すること、また、一般は1冊800円とし、Webの販売は1冊950円で販売される（郵送料込み）ことが報告された。

(8) その他

- ・ハーフタイムショー、出店、有料日設定などは見送りとすることを報告した。

2. 2022年7月開催にされる日学主催の新人戦の出場チーム推薦方法について

坂井強化部長より、資料6に基づき説明があった。全関西のみを対象として上位8チームでのトーナメント、6月18日準々決勝、19日準決勝、1位と2位は全関西の順位に準じる案、もしくは全関西のみを対象として4チームでのトーナメント、18日準決勝、19日決勝をするという2つの案が提案され、前者の案で実施することを確認した。

3. 2023年度からのリーグ戦の編成について

石橋競技部長より、口頭で説明があった。2023年度より、1部10校、2部12校、3部12校、4部12校+3校（5部は廃止）と報告された。

また、古本総務部長より新規登録チームが2つ増えることから、5部相当のチーム数が増えることが想定されると報告された。

4. 役員一覧および理事の辞任と後任理事の就任について

古本総務部長より、資料7に基づき説明があった。石川猛氏が競技委員、長渡由子氏が強化副部長に就任されたと報告された。

5. 神戸医療未来大学、大阪公立大学の名称変更について

古本総務部長より、資料8に基づき説明があった。大阪府立大学が大阪公立大学、神戸医療福祉大学が神戸医療未来大学に名称が変更されたと報告された。また、名称は変更されるが、連盟順位については継承希望があり、本日の理事会で承認された。

〈報告事項〉

1. 2022年度加盟に際する登録手続状況

古本総務部長より、資料 9に基づき説明があった。今年度新たに畿央大学、神戸女子大学が登録され、合計 51 校の大学を登録すると報告された。

2. 2022年度広告協賛の申込状況

足立学生委員より、資料 10に基づき説明があった。全関西大会では、昨年度より 3 社多く協賛していただいていること、また、今後の西日本大会に向けて、広告協賛募集を引き続き行ってほしいということが報告された。

3. 2022年度西日本学生バスケットボール選手権大会の準備状況

古本総務部長より、資料 11に基づき説明があった。6月 5 日～6月 12 日にエディオンアリーナ大阪、丸善インテックアリーナ大阪、東和薬品 RACTAB ドーム、おおきにアリーナ舞洲で行われることが決定した。また、新型コロナウイルスの影響で急遽大会が中止する可能性があるため、各チームには参加同意書を配布し、同意したチームのみで行うと報告された。同意書の内容としては、急遽大会が中止となった場合、参加料から体育館のキャンセル料を差し引いて返金させてもらうということ、また感染対策に対しては、大会参加するにあたり、大会準備委員会の規定されている内容をしっかりと守っていただくこととなっていると説明された。

また、次回の準備委員会は 4 月 8 日に行われると報告された。

4. 学連委員の選出状況について

山下委員長より、口頭で説明があった。園田学園女子大学より 1 名選出があり、広報渉外部として現在活動している。また、奈良学園大学より 1 名選出していただくと連絡があった。また、SNS より新 1 回生の方から連絡があり対応していると報告された。

古本総務部長より、今後の運営についても今の状況では、学連員が不足している状況から、協力してほしいと呼びかけがあった。

5. 日学理事長会報告（2022年度インカレに関してなど）

丸岡理事長より、資料 12に基づき説明があった。インカレが 12 月 3 日（土）～12 月 11 日（日）、ワールドユニバーシティゲームズ代表選考合宿が中国の成都で 6 月 26 日～7 月 7 日に行われると報告された。

6. インテグリティ推進本部会議の開催について

荒木副理事長より、口頭で説明があった。

4月29日（金・祝）にベイコム総合体育館において第1回推進本部会議を開催すると報告された。

〈その他〉

丸岡理事長より、コンプライアンス研修が行われたことについて説明があった。

古本総務部長より、全関西選手権大会における感染対策及び大会の管理として役員の方に対して各役職の当日の役割分担について説明された。

3. 次回理事会および総会の日程

古本総務部長より、口頭で説明があった。次回理事会 4月29日（金・祝）の試合終了後、ベイコムにて、2022年度総会 5月3日（火・祝）19:00～、ラクタブにて行うと報告された。